



九州大学カイロオフィス（海外共同利用事務所）が開所

概要

九州大学は、中東・アフリカ地域における初の海外オフィスとして、エジプトの首都カイロに九州大学カイロオフィスを設置し、平成22年2月11日に開所式を執り行いました。

このオフィスは、九州大学のみならず、日本の大学全体の留学生受け入れを促進することを目的とした「海外大学共同利用事務所」としての役割も併せ持ち、今後は日本の大学合同による日本留学フェアの開催や現地入試の実施をはじめ、日本留学生同窓会（JEN：Japan Egypt Network）設立を通じて、日本への留学生の増加を目指します。

背景

平成20年7月に政府が決定した「留学生30万人計画」の実現と、留学生を惹きつける魅力ある大学づくりを目指して、文部科学省が国際化の拠点となる大学を選定し重点的な育成を行う「国際化拠点整備事業（グローバル30）」に昨年九州大学が採択されました。その事業の一環として本学が受入重点国の一つにしているエジプトのカイロに、「海外大学共同利用事務所」を設置することになりました。

このオフィスは、九州大学で10番目に設置された海外オフィスでありエジプトにおいて、九州大学のみならず日本の大学説明会や入試・面接等を行うことにより、日本の大学全体の留学生受け入れを促進することを目的としています。

開所式

開所式は、平成22年2月11日（木）16時30分（現地時間）から、在エジプト日本国大使館において、九州大学から有川総長、水田国際交流担当理事・副学長とともに、石川駐エジプト日本国大使、ヒラルールエジプト高等教育大臣はじめ現地関係者約100名の参加により、執り行われました。

有川総長は開所式での挨拶で、九州大学カイロオフィス設立の経緯及び今後の具体的な活動内容について紹介し、現地の各関係機関へ協力を要請しました。



効果

九州大学カイロオフィスの設立により、「留学生30万人計画」の実現に向けた日本の大学全体の留学生受け入れを促進します。

またエジプト日本科学技術大学（E-JUST）設立プロジェクトへの協力活動の拠点とし、さらにエジプトの他の大学・研究機関との連携強化を図ります。

